

水戸ファンドラップ 四半期通信

～ 運用担当者からのお知らせ ～

作成基準日：2026年3月31日

【目次】

| | ページ |
|----------------------|-----|
| 1. 運用コース別・設定来価額推移グラフ | 2 |
| 2. 資産別パフォーマンス | 2 |
| 3. 資産別投資環境見通し | |
| 国内株式、先進国株式 | 3 |
| 新興国株式、世界の債券 | 4 |
| ワールドリート、コモディティ | 5 |
| ドル・円 | 6 |
| 4. 主要国の金融政策 | 6 |
| 5. 水戸ファンドラップの情報発信 | 7 |

<ご案内>

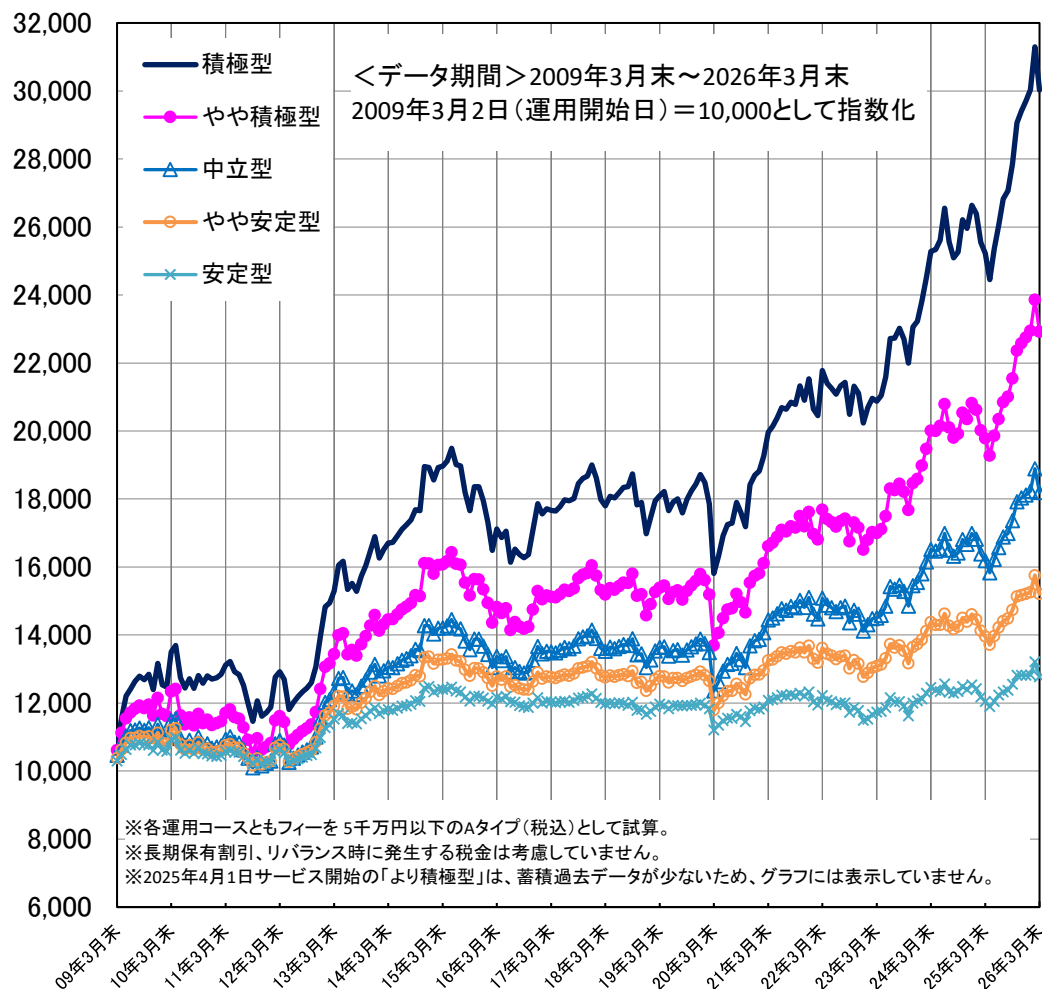
■本資料は、運用担当者が作成し、四半期ごとに水戸ファンドラップのお客さま向けにお届けする情報提供資料です。

■水戸ファンドラップの情報発信として今回は、『動画コンテンツ「特約・付帯サービス解説動画」拡充のお知らせ』を掲載いたしました。詳しくは本資料7ページをご覧ください。

水戸証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人資産運用業協会

1. 運用コース別・設定来価額推移グラフ<月足>



<試算値> (「より積極型」はサービス開始日の2025年4月1日=10,000)

| | より積極型 | 積極型 | やや積極型 | 中立型 | やや安定型 | 安定型 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 25年12月末 | 12,217 | 29,705 | 22,746 | 18,121 | 15,208 | 12,815 |
| 26年1月末 | 12,436 | 30,037 | 22,944 | 18,230 | 15,258 | 12,823 |
| 26年2月末 | 12,992 | 31,298 | 23,856 | 18,892 | 15,755 | 13,214 |
| 26年3月末 | 12,259 | 30,028 | 22,918 | 18,189 | 15,206 | 12,771 |

<騰落率>

| | | | | | | |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 26年1月 | +1.79% | +1.12% | +0.87% | +0.60% | +0.33% | +0.06% |
| 26年2月 | +4.47% | +4.20% | +3.97% | +3.63% | +3.26% | +3.05% |
| 26年3月 | ▲5.64% | ▲4.06% | ▲3.93% | ▲3.72% | ▲3.48% | ▲3.35% |

2. 資産別パフォーマンス<円換算>

| | 25年4-6月 | 25年7-9月 | 25年10-12月 | 26年1-3月 | 平均 |
|---------|---------|---------|-----------|---------|-------|
| 国内株式 | +7.9% | +10.9% | +9.2% | +3.5% | +7.9% |
| 国内債券 | ▲0.2% | ▲1.5% | ▲2.3% | ▲1.6% | ▲1.4% |
| 先進国株式 | +8.1% | +10.3% | +8.5% | ▲1.9% | +6.3% |
| 先進国債券 | +1.5% | +3.4% | +6.0% | +0.9% | +3.0% |
| 新興国株式 | +6.6% | +14.7% | +9.3% | +1.4% | +8.0% |
| 新興国債券 | ▲0.7% | +6.3% | +7.7% | +0.7% | +3.5% |
| ワールドリート | ▲0.8% | +5.2% | +2.9% | +4.6% | +3.0% |
| コモディティ | ▲6.1% | +6.6% | +11.3% | +27.1% | +9.7% |
| ドル・円 | ▲3.2% | +2.8% | +5.2% | +2.1% | +1.7% |

・資産別パフォーマンスの計算は下記のデータを使用

※資産別パフォーマンス<円換算>は、毎四半期末を基準とした期間3カ月の騰落率。
 ※【国内株式】～【コモディティ】の8資産は、Bloombergが算出する代表的な指数を使用。3～5ページも同様。
 ※【ドル・円】は、三菱UFJ銀行が算出する公表仲値(TTM)。6ページも同様。

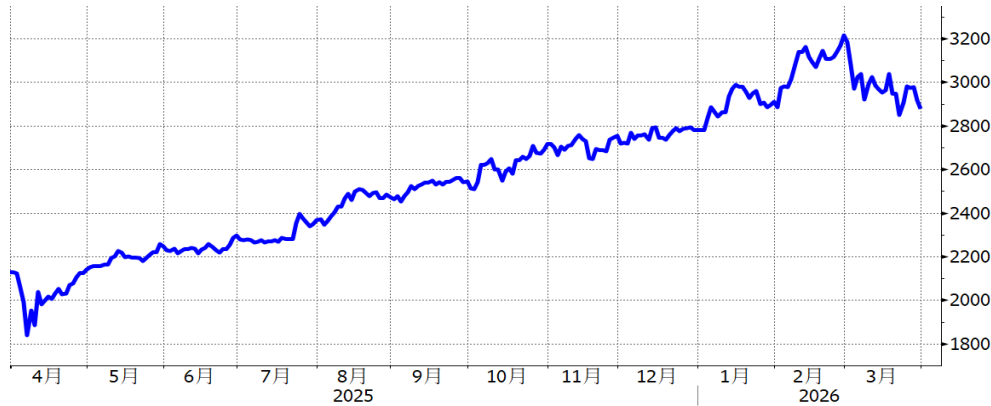
(出所) Bloomberg、QUICKより水戸証券作成

8ページの重要な注意事項(「水戸ファンドラップ」の手数料およびリスク事項について)を必ずご覧下さい。

3. 資産別投資環境見通し

国内株式

政策期待と原油高に対する
懸念が交錯



<1-3月レビュー>

■国内株式相場は、大きく上昇した後に急落し、値動きの荒い展開となりました。1月上旬に衆院解散報道等を受け、大きく上昇しました。2月8日には衆院選が実施され、積極財政を掲げる自民党の大勝となったこと等から、2月末にかけて一段高となりました。その後は、中東情勢の悪化と原油価格高騰等を受けてリスク回避ムードが高まり、大きく下落しました。

<4-6月の見通し>

■国内株式相場は、強弱入り交じる展開を想定します。高市政権の積極財政・成長戦略の下、「戦略17分野」を中心とした官民投資の具体化等が支援材料として期待されます。一方、中東情勢の悪化にともなう原油高が企業業績の圧迫要因となることが懸念され、5月の決算発表に向けて警戒感が強まる可能性には、注意が必要です。

■その他の注目要因として、日銀の金融政策動向が挙げられます。中東情勢悪化以前から、年央までの追加利上げが見込まれていましたが、原油高によるインフレ懸念を受けてスタンスに変化があるのか、注目されます。

先進国株式

米国と欧州ともに
利上げ観測の高まりが重しに



<1-3月レビュー>

■先進国株式相場は、AI(人工知能)による代替懸念等を背景とした米ソフトウェア株の下落や、プライベートクレジット(ノンバンク融資)に対する懸念の高まり等が重しとなりました。加えて、中東情勢の悪化により原油価格が高騰したこと等を背景に、米欧の利上げ観測が急速に高まったこと等から、3月に入り下落しました。

<4-6月の見通し>

■米国株は、AI(人工知能)半導体を中心とした企業業績への根強い期待等が下支えとなる一方、中東情勢等を背景とした米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げ観測等が重しになると考えます。また、11月に予定されている米中間選挙に向けて、低下傾向にある支持率を回復すべく米トランプ政権がどのような行動を起こすのか、注目されます。

■欧州株は、中東情勢やウクライナ情勢の悪化によるエネルギー価格上昇等を背景に、欧州中央銀行(ECB)による利上げの可能性が高まりつつあること等から、上値の重い推移を予想します。

チャートのデータ期間: 2025年3月末~2026年3月末 (出所) Bloombergより水戸証券作成

新興国株式

下支え要因はあるが、
中東情勢には要警戒



<1-3月レビュー>

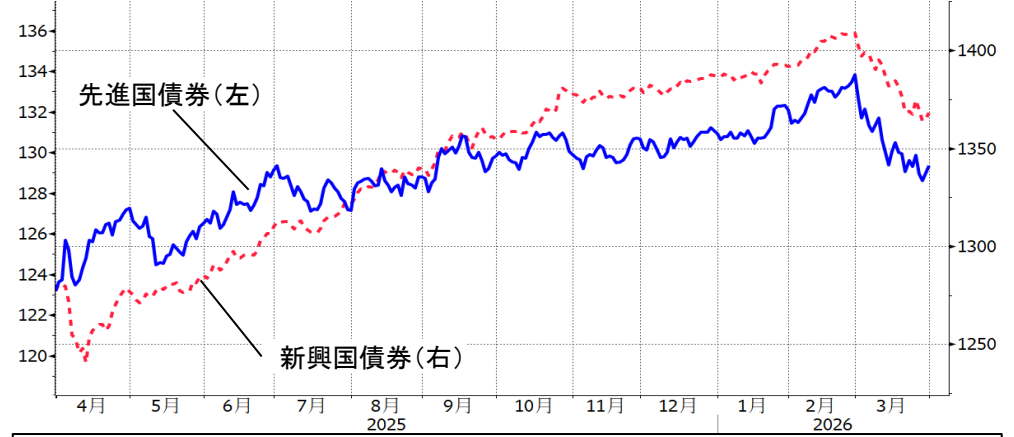
■新興国株式相場は、AI(人工知能)半導体への根強い期待等を背景とした韓国・台湾株の好調や、中国当局による景気支援に前向きな姿勢等が下支えとなり、2月末にかけて大きく上昇しました。しかし、中東情勢の悪化等によるリスクオフムードの高まり等を背景に、3月に入り軟調推移となりました。

<4-6月の見通し>

■中国株は、主要経済指標に改善の兆しが見られることや、米国との対立が落ち着きを見せていること等が下支えとなる一方、中東情勢に対する懸念の高まり等が重しとなり、揉み合う展開を想定します。
■その他の国では、韓国のコリアディスカウント(韓国株の低い評価)解消に向けた取り組みや、韓国・台湾のメモリー半導体に対する根強い需要、インドの堅調な経済成長等が、下支え要因として期待されます。ただし、エネルギー輸入の中東依存度が高いアジア地域を中心に、中東情勢に対する懸念の高まりには、注意が必要と考えます。

世界の債券

中東情勢と原油相場の
動向を注視



<1-3月レビュー>

■先進国債券相場は、米利下げ観測等が下支えとなり堅調に推移した後、中東情勢の悪化による原油価格高騰を受けたインフレリスクの高まり等を背景に、下落しました。
■新興国債券相場は、先進国債券相場の堅調推移等が支援材料となるも、中東を巡る地政学リスクの高まりや原油高等を受け、下落に転じました。

<4-6月の見通し>

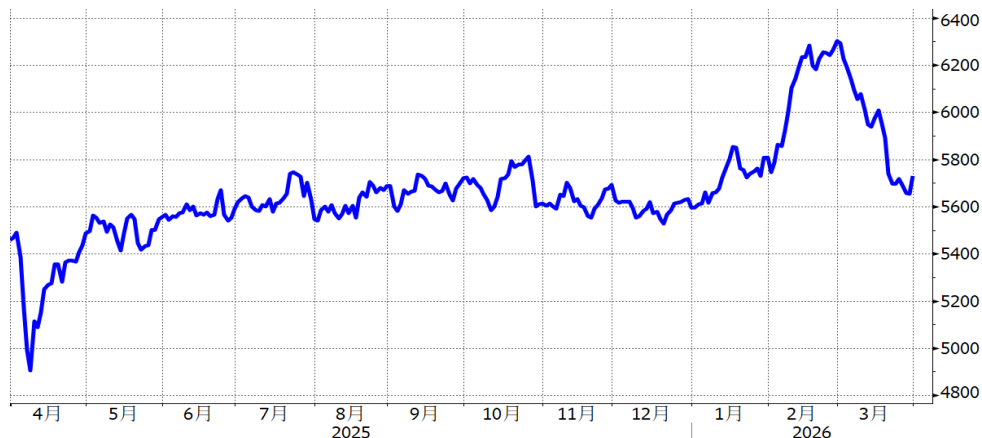
■先進国債券相場は、中東情勢と原油相場に振らされる展開を想定します。中東情勢の悪化による原油高を受け、市場は米連邦準備制度理事会(FRB)による年内の利上げを織り込み始めており、金利上昇要因となりそうです。一方で、米国経済はガソリン価格上昇による悪影響が大きく、景気減速懸念が強まるようであれば金利低下要因となり得るため、状況を注視すべきと考えます。
■新興国債券相場は、中東情勢悪化による原油高の悪影響を受けやすいことや、地政学リスクの高まりによる資金流出懸念等が逆風となりそうです。

チャートのデータ期間:2025年3月末~2026年3月末 (出所)Bloombergより水戸証券作成

8ページの重要な注意事項(「水戸ファンドラップ」の手数料およびリスク事項について)を必ずご覧下さい。

ワールドリート

主要国のインフレ懸念や
金融政策の動向に注目



<1-3月レビュー>

■ワールドリート相場は、米欧の金利動向等に左右される展開となりました。2月末にかけては、米欧の長期金利が低下したことに加え、主要リート銘柄の好調な決算発表等を背景に、上昇しました。その後は、中東情勢の悪化にともなう原油価格の上昇を背景にインフレ懸念が再燃し、米欧の長期金利が上昇したこと等から、軟調推移となりました。

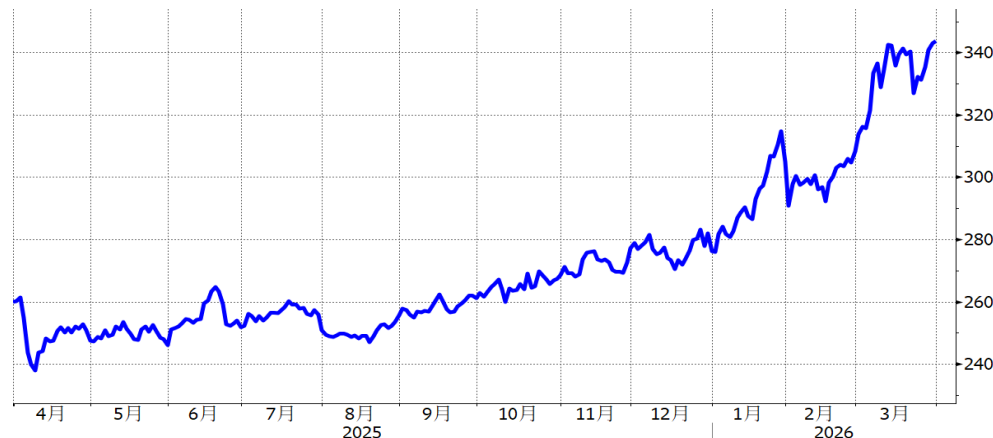
<4-6月の見通し>

■ワールドリート相場は、横ばい推移を予想します。バリュエーション面での割安感や、株式相場に対する出遅れ感等が下支え要因になると想定します。一方で、中東情勢の悪化にともなうインフレ再燃懸念を背景に、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ観測が高まりつつあること等が、重しになると考えます。

■Jリートは、底堅い推移を予想します。国内金利が上昇していること等は重しとなる一方、東京都心5区の空室率低下や賃料上昇、バリュエーション面での割安感等が、下支えになると考えます。

コモディティ

中東情勢をはじめとする
地政学リスクの動向を注視



<1-3月レビュー>

■コモディティ相場は、中東情勢の悪化等の地政学リスクに振られる、値動きの荒い展開となりました。

■原油相場は、2月末に米国とイスラエルによるイランへの攻撃が報じられ、中東情勢の悪化が意識されたことに加え、ホルムズ海峡の通航に対する懸念等を背景に供給不安が強まり、大きく上昇しました。

<4-6月の見通し>

■コモディティ相場は、中東やウクライナ情勢など、世界各地で地政学リスクが燻っていること等から、値動きの荒い展開が続くと考えます。

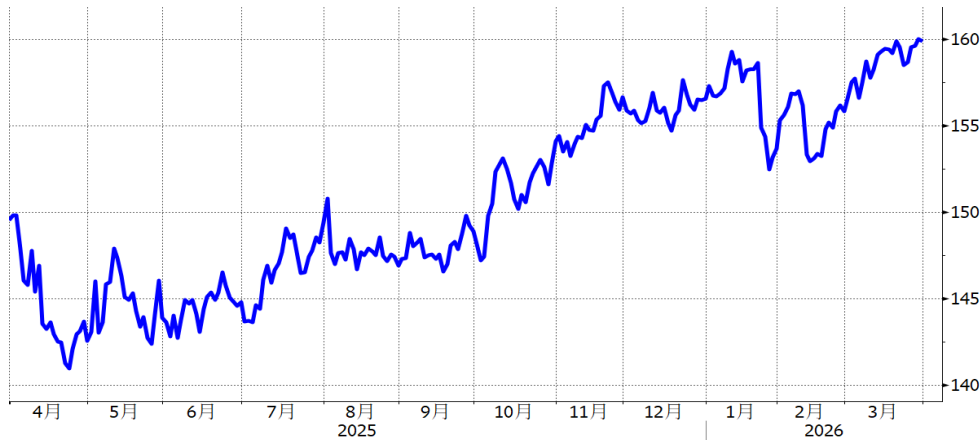
■原油相場は、中東情勢への警戒感等が上昇圧力として意識されやすい一方、米国とイランの交渉進展への期待が高まる局面では、上値の重い推移を想定します。金は、米金利や米ドルの動向に左右されつつも、新興国を中心とする中央銀行の需要や地政学リスク等を背景に、底堅い推移を予想します。産業用メタル（銅やアルミ）は、米国の関税政策や原油高を背景とした世界的な景気減速懸念等から、上値の重い推移を予想します。

チャートのデータ期間：2025年3月末～2026年3月末（出所）Bloombergより水戸証券作成

8ページの重要な注意事項（「水戸ファンドラップ」の手数料およびリスク事項について）を必ずご覧下さい。

ドル・円

中東情勢の動向や
為替介入の有無に注目



<1-3月レビュー>

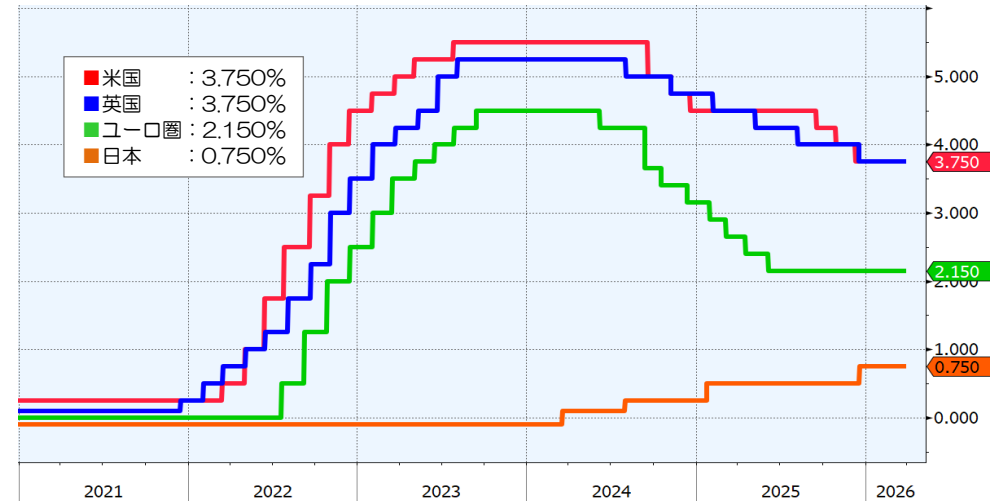
■ドル・円相場は、上下に振らされつつも、概ねドル高・円安基調で推移しました。1月下旬には、日米連携による為替介入への警戒感が強まったこと等から、一時1ドル=152円台までドル安・円高が進行しました。その後は、衆院選を巡る思惑に左右されつつも、中東情勢の悪化を背景に米利下げ観測が後退したこと等から、ドル高・円安基調が強まりました。

<4-6月の見通し>

■ドル・円相場は、1ドル=150円台後半を中心に揉み合いながら、方向感を探る展開を予想します。中東情勢の悪化にともなうインフレ再燃懸念を背景に、米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げ観測が高まりつつあることや、日本の財政悪化に対する懸念が円安要因になると考えます。

■一方で、足元の為替水準は歴史的に見ても円安水準にあり、さらに円安が進行する場合には、為替介入への警戒感が強まると思われ、円安の余地は限定的になると考えます。為替介入が実施された場合には、相場が急変動する可能性もあるため、注意が必要です。

4. 主要国の金融政策



※米国:FF目標金利(上限値)、英国:ボラソルト、ユーロ圏:リファイナンス金利、日本:無担保コールレート翌日物

<主要国の政策金利動向>

■米国は、2会合連続で政策金利を据え置きました。中東情勢による影響の規模や期間について判断するのは時期尚早とし、様子見姿勢を示しました。参加者の政策金利見通しでは、2026年に1回の利下げ予想が維持された一方、インフレ率見通しは上方修正されました。

■ユーロ圏は、6会合連続で政策金利を据え置きました。中東情勢により、インフレの上昇リスクと経済成長の下落リスクが生み出されていると指摘し、景気予測では、インフレ率の見通しを上方修正しました。

■英国は2会合連続で政策金利を据え置きました。中東情勢によるインフレリスクに触れつつ、予想に反して全会一致の決定となりました。

■日本は、2会合連続で政策金利を据え置きました。原油高による物価への影響に留意が必要としつつ、経済・物価情勢の改善に応じて利上げしていく方針を改めて示しました。

チャートのデータ期間:2025年3月末~2026年3月末 (主要国の金融政策のみ2020年12月末~2026年3月末) (出所)Bloombergより水戸証券作成
8ページの重要な注意事項(「水戸ファンドラップ」の手数料およびリスク事項について)を必ずご覧下さい。

5. 水戸ファンドラップの情報発信

★ 動画コンテンツ「特約・付帯サービス解説動画」拡充のお知らせ

◆弊社ではこの度、水戸ファンドラップお客さま専用ページにて公開している「相続時受取人指定サービス」の解説動画コンテンツを拡充いたしました。

【ご利用方法】

○ 水戸証券ホームページ(URL: <https://www.mito.co.jp/>) → 「商品案内」
→ 「水戸ファンドラップ」 → お客さま専用ページ「ログイン」ボタン
→ 「ユーザー名・パスワード」入力 → 「お客さま専用ページ」 → 特約・付帯サービス解説動画

○ ユーザー名・パスワード

<2026年4月20日11:59まで>

ユーザー名 0310

パスワード 0310

<2026年4月20日12:00から>

ユーザー名 2026

パスワード 2026



特約・付帯サービス解説動画



相続時受取人指定サービスのご案内



相続時受取人指定サービスの対象者と対象資産について



相続時受取人指定サービスのお申込みと相続発生後の流れについて

「水戸ファンドラップ」のリスクおよび手数料について

【リスクについて】

- ・「水戸ファンドラップ」は、投資一任契約に基づき有価証券等に投資する取引です。運用成績は、投資一任契約に基づき運用される有価証券等の価格変動に応じて変化します。
- ・「水戸ファンドラップ」が投資対象とする投資信託は、主に株式および債券等値動きのある証券(外貨建て証券は為替リスクもあります)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特にエマージング市場等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与えることがあります。したがって、投資元本が保証されるものではなく、これを割り込むことがあります。また、運用における損益は、すべて投資者としてのお客さまに帰属します。
- ・資料に示された過去の実績は、将来の結果を保証するものではありません。

【手数料について】

- ・「水戸ファンドラップ」は、運用資産残高に応じて、定期的に報酬(手数料)をご負担いただきます。報酬の体系には、「Aタイプ(固定報酬のみ)」と「Bタイプ(固定報酬+成功報酬併用)」の2つがあり、ご契約の際、お客さまに選択していただきます。
- ・「Aタイプ(固定報酬のみ)」: 残高基準日の運用資産の時価評価額に対し、最大2.090%(年率、税込)を乗じた額をご負担いただきます。
- ・「Bタイプ(固定報酬+成功報酬併用)」: 固定報酬については、残高基準日の運用資産の時価評価額に対し、最大1.567%(年率、税込)を乗じた額をご負担いただきます。成功報酬については、成功報酬評価基準日での収益相当金額に対し11.0%(税込)を乗じた額をご負担いただきます。
- ・上記以外に、「水戸ファンドラップ」が投資対象とする投資信託の信託報酬として、純資産総額に対し最大で1.7908%(税込)を乗じた額をご負担いただきます。また、換金時の基準価額に対し最大0.5%を乗じた額の信託財産留保額をご負担していただく場合があります。さらに、運用状況に応じこれら投資信託の監査費用等が別途必要になりますが、事前にその料率・上限額等を示すことはできません。

※ リスク・手数料についての詳細は、ご契約に際しあらかじめまたは同時にお渡しする「約款・規定集」、「契約締結前交付書面(A)」、「水戸ファンドラップ 契約締結前交付書面」、「水戸ファンドラップ口座約款」、「水戸ファンドラップ投資一任契約約款」、「各投資信託説明書(交付目論見書)」等をご覧ください。

水戸証券株式会社

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号
加入協会／日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会

- ・当資料は、当社(水戸証券株式会社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。投資にあたりましては、ご自身の判断でなされますようお願い致します。
- ・当資料は、当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性や完全性、将来の運用成績について保証するものではありません。また、内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

